

「次世代郊外まちづくり基本構想 2013

－ 東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン －」を策定

～2013年度の8つのリーディングプロジェクトが動き出します～

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、平成24年4月に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、産・学・官・民が連携してまちづくりに取り組んでいくためのビジョンの提示を目的に、これまで住民参加型ワークショップや各検討部会の開催などを通じて、様々な取組・検討を重ねてきました。

このたび、これまでの取組・検討成果を取りまとめ、「次世代郊外まちづくり基本構想」（以下、「本構想」という。）を策定しました。本構想では、良好な住環境とコミュニティの持続・再生が実現した郊外住宅地の将来像として「WISE CITY（ワイズシティ）」を掲げ、その実現に向けた基本方針と取組事項を、東急田園都市線沿線のまちづくりの重点施策として策定しました。今年度は、実行計画である8つのリーディングプロジェクトを、モデル地区（東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区（青葉区美しが丘1～3丁目）を対象に推進します。

今後は、本構想を踏まえてモデル地区および東急田園都市線沿線における具体的な取組を進め、地域にお住まいの方々や、NPOなどの市民活動団体、民間企業などとともに、郊外のまちの魅力と価値に一層磨きをかけ、次世代に引き継げる元気な郊外住宅地を実現させていきます。

上記内容を、東急電鉄と合同で記者発表しますので、お知らせします。

（「次世代郊外まちづくり基本構想 2013-東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン-」の詳細は、別紙をご参照ください。）

* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく従来になかった参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取組である「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置づけているものです。

* 「次世代郊外まちづくり」の詳細は、下記ホームページをご参照ください。

ホームページアドレス：<http://jisedaikogai.jp>

お問い合わせ先

横浜市	建築局企画部企画課長	鈴木 和宏	Tel 045-671-3627
	温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
	政策局政策課担当課長	鶴澤 聡明	Tel 045-671-4202



報道関係者 各位

平成 25 年 6 月 19 日
横 浜 市
東京急行電鉄株式会社

「次世代郊外まちづくり基本構想2013 - 東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン -」を策定 ～2013年度の8つのリーディングプロジェクトが動き出します～

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、平成24年4月に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、産・学・官・民が連携してまちづくりに取り組んでいくためのビジョンの提示を目的に、これまで住民参加型ワークショップや各検討部会の開催などを通じて、様々な取組・検討を重ねてきました。

このたび、これまでの取組・検討成果を取りまとめ、「次世代郊外まちづくり基本構想」（以下、「本構想」という。）を策定しました。本構想では、良好な住環境とコミュニティの持続・再生が実現した郊外住宅地の将来像として「WISE CITY（ワイズシティ）※1」を掲げ、その実現に向けた基本方針と取組事項※2を、東急田園都市線沿線のまちづくりの重点施策として策定しました。今年度は、実行計画である8つのリーディングプロジェクトを、モデル地区（東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区（青葉区美しが丘1～3丁目））を対象に推進します。

今後は、本構想を踏まえてモデル地区および東急田園都市線沿線における具体的な取組を進め、地域にお住まいの方々や、NPOなどの市民活動団体、民間企業などとともに、郊外のまちの魅力と価値に一層磨きをかけ、次世代に引き継げる元気な郊外住宅地を実現させていきます。

※1 WISE CITY : Wellness, Intelligent & ICT, Smart & Sustainable, Ecology・Energy & Economy の頭文字をとった造語。

賢いまちづくりという意味も込めています。

※2 基本方針と取組事項: 詳細は別紙をご覧ください。

＜2013年度のリーディングプロジェクト＞

1. 住民創発プロジェクト - シビックプライド・プロジェクト -

元気で豊かなコミュニティや魅力的なまちの実現をテーマに、自分のまちに愛着や誇りをもって地域の皆様が行動していくプロジェクトを、地域の皆様やNPO、民間企業など多様な主体から募集し、実現を支援します。

2. 住民の活動を支える仕組みと場づくり

住民が元気に活動し、まちづくりの主役となっていく「人が活躍するまち」の実現を目指して、ICT技術を活用した地域情報の一元化や地域活動の仕組みづくり、空き店舗の活用など住民が交流し活動するための場づくりを行っていきます。

3. 家庭の節電プロジェクトとエコ診断

《家庭の節電プロジェクト》

【募集】6/20～8/31 【イベント】6/22

「モデル地区」にお住まいの方を対象に、節電達成状況に応じて地域通貨（たまプラーザ駅周辺の商業施設や商店街で利用可能）をプレゼントする「家庭の節電プロジェクト」を実施します。

《エコ診断》

専門知識を持った診断員が、ご家庭のエネルギー消費量やライフスタイルなどに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案する「家庭のエコ診断」を実施します。

裏面あり

4. まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり

多世代が暮らす魅力あるまちの実現を目指して、地域の保育や子育てに関連する多様な主体が集まり、地域ぐるみで保育や子育て環境を向上させ、子育ての魅力いっぱいのもちづくりを実現していく検討を始めます。

5. 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロット・プロジェクト

在宅医療を軸とした医療・介護連携の地域包括ケアシステム「あおばモデル」の構築を目指して、今年度は、地域包括ケアや在宅医療の主体となっていく地域の医療機関や介護事業などの連携や参画を促す仕組みづくりなどの推進、在宅医療における重要課題の検討を進めます。

6. 暮らしと住まいのグランドデザイン（素案）の策定

戸建住宅地や団地などの持続や再生に必要な機能の配置や、コミュニティ・リビングを実現するための誘導方策などを、モデル地区のグランドデザイン（素案）としてとりまとめていきます。

7. 「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクト

－ 企業社宅などの土地利用転換時における土地利用誘導 －

暮らしと住まいのグランドデザイン（リーディングプロジェクト6を参照）に基づき、モデル地区内の企業社宅などの建替えや再開発などの際、地域課題の解決や郊外住宅地の持続、再生に貢献する機能の導入を、事業者と連携、協働し、具体的な案件で実現を目指します。

8. 「次世代郊外まちづくり」推奨スペック策定

－ 建物や施設に求められる施設や機能、建築推奨指針づくり －

建物の更新時期に併せて郊外住宅地の持続・再生に必要な機能を適切に誘導するため、建物の仕様として求められる性能や機能を指針として策定します。

※「次世代郊外まちづくり基本構想」の概要は、別紙のとおりです。

以 上

お問い合わせ先		
横浜市 建築局企画部企画課長	鈴木 和宏	Tel 045-671-3627
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
政策局政策課担当課長	鶴澤 聡明	Tel 045-671-4202
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部 森田・柳澤・田中・長谷		Tel 03-3477-6086